

3019

カワソーテクセル 株式会社

KAWASO TEKUSERU

事業所名	カワソーテクセル 株式会社	FAX番号	0561-83-5527
代表者名	稲付 嘉明	Eメール	seto-factory@kawaso-texcel.co.jp
所在地	〒489-0892 瀬戸市上ノ切町1	ホームページ	http://www.kawaso-texcel.co.jp
連絡先	0561-82-2493	部会名	工業品部会

●あゆみ

- 1877 愛知県瀬戸市において川本惣吉が陶磁器製食器類の製造を目的として「川惣」を創業
- 1916 電気用碍子類の製造を開始
- 1921 大阪支店を開設し、関西ならびにその以西の電力会社、および電鉄会社に販路を拡大
- 1945 川惣電機工業株式会社に改組
- 1949 架線金物類の製造を開始
- 1957 川惣電材工業株式会社に社名変更
- 1959 本社を大阪市に移転
- 1967 堺工場を新設
- 1978 広島営業所を支店に昇格
- 1979 セラミックス商品の製造を開始
- 1983 メタライズ商品の製造を開始
- 1988 カワソーテクセル株式会社に社名変更 広島工場を新設
- 2003 ISO9001:2000を認証取得
- 2005 ISO14001:2004を認証取得

セラミックスからメタライズへ独創の技術で応える

創業者「川本惣吉」に由来する「川惣」からスタートした当社は、1988年「カワソーテクセル」に社名変更しました。社名の一部であるテクセルは、テクノロジーのあるエクセレントな会社をめざしたtechnology & excellentからの造語です。

創業時は、陶磁器製造業として洋食器を、その後碍子を主力に事業を展開し、1970年代末にはアルミナを中心とするファインセラミックスもラインナップに加えました。

現在、洋食器事業は既ありませんが、瀬戸工場では碍子に加え、セラミックスを生産しております。

この間、本社機能も瀬戸から大阪に移し、セラミックスも広島県呉市にある工場でも生産するようになりました。

当社のセラミックスの事業のなかには、セラミックス表面を金属化させ、ろう付により金属と気密接合するメタライズ加工があります。

メタライズといえば、モリブデン-マンガン法がよく知られていますが、当社はチタンをベースとした金属ペーストによる活性金属メタライズ法を独自に開発し、四半世紀以上にわたって、超高真空など特に信頼性の求められる分野で製品展開しております。

セラミックスに金属層を形成させるにあたっては、セラミックスの表面に金属ペーストを塗布後、熱処理するのですが、当社の開発した活性金属メタライズ法の場合、この熱処理が1,000℃以下でできるという特徴を有しております。

現在注目されているエコの視点からみると、エネルギー効率面からも非常に有益なメタライズ法であると自負しております。

この技術を用いた製品としては、真空装置、半導体製造装置に使用される電流導入端子や絶縁継手などがあります。当社では、規格品だけでなく、お客さま個々の仕様に対応する商品展開を行うことで、もっと多くのお客さまに当社の技術力を知っていただきたいと思っております。

セラミックスだけでなく、このメタライズ技術で更なる社会貢献を目指します。



瀬戸工場



広島工場(広島県呉市)



創業当時の洋食器

メタライズ商品